

令和6年度第1回総合計画審議会意見への対応（経営方針及び政策体系に関する意見と対応）

- ・第1回総合計画審議会における49件の意見について、①経営方針及び政策体系に関するもの（7件）、②「行動計画」への反映を検討するもの（35件）、③意見として承るもの（7件）に区分
- ・各政策における取組に関する意見（②）については、令和7年度の「行動計画」の策定過程において対応

区分	意見	対応
経営方針	5つの「経営の視点」が県民にとって分かりにくいいため、もっと具体的な表現にすべきではないか。	(P6) 原案の5つの「経営の視点」の説明内容について、分かり易い具体的な表現に修正
経営方針	「第3章 今後の社会展望 1 時代潮流 (4) 国際情勢の不安定化」の記述について、暮らし向きが苦しくなっていると県民が感じる理由には、国際情勢だけでなく、給与所得や年金所得の伸び悩みなども考えられるため、「国際情勢の不安定化」と一括りにしてしまうのは正確ではないのではないかと。	(P11) 「消費者物価の上昇に伴う実質賃金の低下などにより」の記述を追記
経営方針	次期計画案の時代潮流に、時代の宿命としての南海トラフ地震の記載を入れていただきたい。	(P24) 第3章 今後の社会展望 3 本県における課題 (6) を「 <u>南海トラフ地震と激甚化する自然災害</u> 」に修正
政策体系	政策体系の「Ⅱ 豊かな暮らし」に位置付けられている「文化活動」について、イノベーションを起こすという視点から、「Ⅰ 未来を創る力」にも位置付けてほしい。	(P25) 第4章 政策体系と行政経営 1 政策体系の説明として、「各政策を有機的に連携・横断的に進めることにより、実効性を高めつつ、最大限の効果の発揮を図る」旨を追記
政策体系	政策体系の「Ⅱ 豊かな暮らし」に位置付けられている「こども・教育」について、こどもは未来の社会を支えていく人材でもあることから、教育に関する取組を「Ⅰ 未来を創る力」にも位置付けてほしい。	
Ⅱ-1 こども・教育	「Ⅱ-1 こども・教育」の「主な取組例」に記載されている、「妊娠・出産期から子育て期までの「母子」への支援」について、「親子」に変えてほしい。	(P33) 「Ⅱ-1 こども・教育」の「①こどもまんなか社会の実現」の「主な取組例」について、結婚を加え「 <u>結婚・妊娠・出産期から子育て期までの切れ目ない支援</u> 」の記載へ修正したため、「母子」の記載を削除
Ⅱ-3 暮らし・文化	大災害時の共助の必要性や、子育て中の母親・独居高齢者の地域での居場所など、地域コミュニティの存在意義や果たすべき役割が増々大きくなっている。このため、「Ⅱ 豊かな暮らし」と「Ⅲ 県民の安心」に掲げる全ての政策のベースとなり、県民の幸福度のキーでもある「地域コミュニティ活動の振興」の必要性を政策体系に明記いただき、来年度の行動計画案の検討に繋げていただきたい。	(P38) 「Ⅱ-3 暮らし・文化」の「②多様な働き方と活力ある地域の推進」の「主な取組例」に「 <u>地域コミュニティの活性化</u> 」を追記